

森林管理事務所長が語る！

令和6年10月

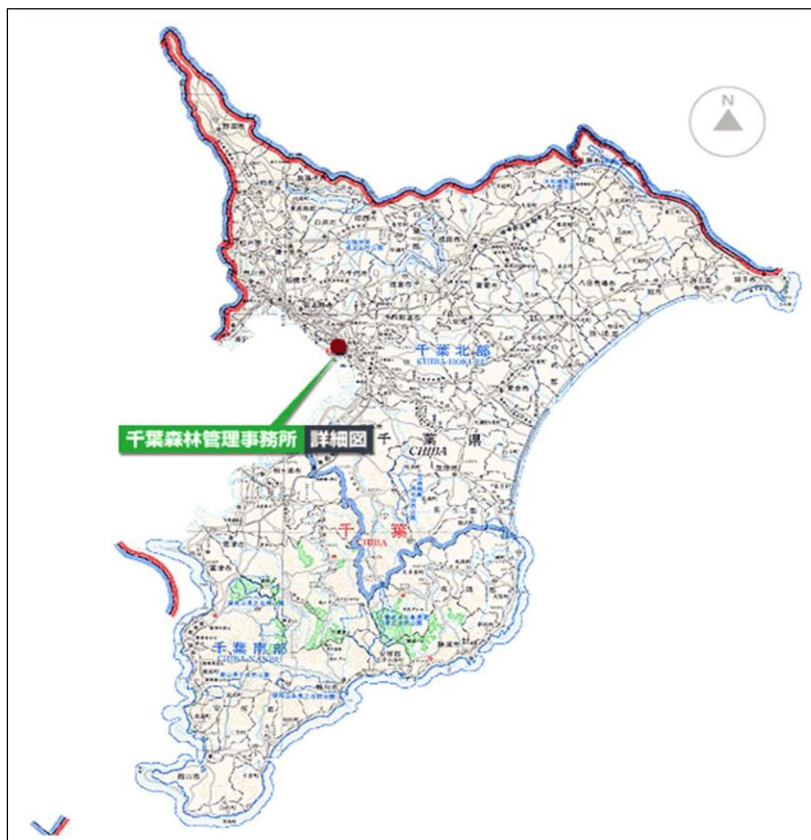
千葉森林管理事務所 原 啓一郎

1 はじめに

千葉森林管理事務所は、事務所を千葉市稲毛区に構え、千葉県全域を管轄区域としています。

千葉県は、人口約628万人。太平洋と東京湾に囲まれた房総半島の海岸線と、半島の付け根部分を流れる利根川と江戸川によって、ぐるっと360度を水面に囲まれ、まるで『島』のような地況を呈しています。

このため、千葉県の『山』は、隣接県とは繋がっておらず、大型の野生生物は山伝いに移動して来ることにも困難。本州で唯一クマ出現のない県となっており、ともに、巨大な需要のある首都圏域に在りながら、主に河川水運で成り立ってきた木材流通ネットワークからも、些か孤立してしまっている印象を受けます。



県の森林面積は約14万8千haで、零細な私有林が9割以上を占めます。森林率は全国(66.3%)の半分にも満たない28.8%で、森林・林業がそれ程盛んとは言い難い状況にあります。

当所が管理する国有林は、県の森林面積の約5%に当たる約7,800haで、面積の大きい順に、君津市(2,362ha)、大多喜町(2,181ha)、富津市(1,803ha)、勝浦市(1,379ha)、銚子市(42ha)、木更津市(33ha)、鴨川市(11ha)、南房総

市(5.6ha)、長柄(ながら)町(2.2ha)、千葉市(0.7ha)、館山市(0.3ha)の県内11市町に所在しています。

その大部分は房総半島南部の房総丘陵に集中していますが、海岸線近くにも、クロマツ林を主とした潮害防備保安林や防風保安林等が、東北端の銚子市犬吠埼から東京湾に面した千葉市まで、小面積ながら点在・分布しており、管理する森林は、県内広範囲にわたっています。

房総半島には「南房総」「水郷筑波」の国定公園や、「高后山」^{たかごやま}「養老溪谷奥清澄」等の県立自然公園に指定されるなど風光明媚な地域が多く、首都圏に近いこともあって大勢の観光客が訪れます。

また、国有林の約9割は水源かん養保安林に指定され、下流地域の水瓶となっており、また、大人口を抱える居住地域に隣接した箇所も多く、保安林機能の高度発揮と風致等に配慮した適正な管理経営に努めています。

2 房総半島南部の国有林（千葉南部森林計画区）

当所管内国有林の殆ど（99%）は、房総半島南部に集中しています。

県南部に位置し、所管国有林の大部分が所在する房総丘陵は、標高が200～400m程度と、決して高くはありませんが地形はかなり急峻で、その一部は軟らかい砂泥岩で構成されています。この地域の国有林は、当所の木材生産や森林整備事業の拠点となっています。

木材生産にあたっては、国産材の需要拡大や加工・流通の合理化等に取り組む木材業者等と協定を締結し、木材を安定的に供給する「システム販売」を推進しています。

域内には、原始的な森林生態系からなる自然環境の維持や遺伝資源の保存等を目的とする「保護林」に設定された森林もあります。

君津市の小坪井国有林にある元清澄山^{もときよすみやま}林木遺伝資源保存林には、氷河期の遺存種といわれ、千葉県レッドデータブックにも掲載されている貴重なヒメコマツが存在しています。

現在、自生する成木は 80 本程度。稚樹段階における「かさぶたがんしゅ病」やシカの食害等により天然更新が阻害され、実生で発生した若木も一部で育ってはいるものの成木には至っておらず、さらに近年の松くい虫被害等により、個体群の絶滅が危惧されています。

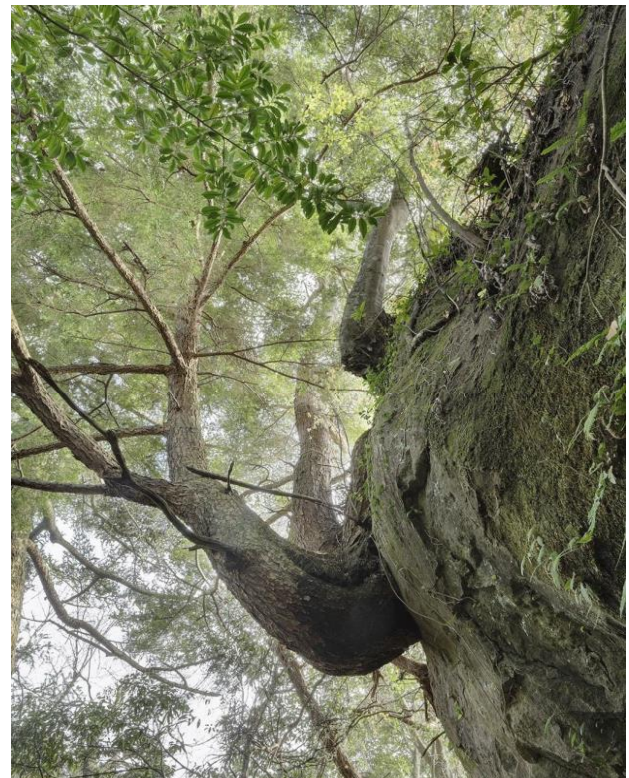
このため、個体状況確認や薬剤の樹幹注入など、ヒメコマツの保護活動を行っています。

^{いすみ}夷隅川、養老川の源流域にある国有林は、起伏に富んだ複雑な地形にモミ・ツガの針葉樹とシイ・カシの広葉樹が混交した自然林、整備されたスギ・ヒノキ人工林で構成されています。

この地域は、以前は「筒森地区レクリエーションの森」に指定されていて、人造湖に映える美林や旧・樹木教習地「筒森見本林」を含む「筒森自然観察

教育林」や、標高 300m の低山ながらも眺望等が楽しめる「^{まめんぼら}麻綿原風景林」に多くの利用者が訪れていました。

旧・樹木教習地「筒森見本林」は、大正 14 年から昭和 3 年にかけて、国内外 60 科・269 種の樹木が集められて植栽され、当時の林野庁職員の研修用展示林として造成された



元清澄山のヒメコマツ



旧・筒森見本林

森林です。その後、戦争前後に放置されて荒廃した事、植栽から約 100 年を経過し、枯損や損傷等により種類・本数共に減少、近年ではレクリエーションの森からも除外され積極的な整備もされず、現在の詳細は把握できてないのが残念です。

外房の鴨川市小湊地区にある国有林は、急峻でその一角は太平洋に沈み込み、その昔、日蓮聖人の誕生を祝って鯛が浅瀬で飛び跳ねたと言い伝えられる「鯛ノ浦」周辺の風景を形成し、風光明媚な景勝地となっています。

また、この区域は急峻な国有林に集落や観光旅館等が近接していることから、急傾斜危険地区に指定されており、日頃から既設の治山施設の点検に努めています。



鯛ノ浦（越ヶ谷国有林ほか）

君津市や富津市を中心とした地域は、2 万年前の新第三紀時代の砂岩、泥岩、礫岩等の堆積岩類を基盤として、その上層部に粗粒の砂からなる市宿層いちじゅくと呼ばれる地層が広く分布しています。市宿層は、厚さ 400m にわたるといわれ、建設資材・山砂として良質であることから、古くから首都圏の公共事業の建設資材向けに採取されてきました。

当所においても、高度経済成長期の昭和 40 年代から 50 年代にかけて、山砂生産専用の鬼泪山きなだやま製品事業所を設置して、山砂の直営生産及び販売を行っていました。

その後も、公共性の高い大型プロジェクトに限り必要量を販売してきており、近年では、平成 8 年から 14 年にかけて建設された東京湾横断道路（アクアライン）の建築資材として採取されましたが、現在は、同レベルの大型公共事業以外は採取を認めない県土石審議会の方針に応じる形で採取販売は行っていません。

一方で、この粗粒の砂からなる市宿層は極めて脆く、林道や作業道の新規開設等によって風雨に晒されると、途端にサラサラの砂状となって崩れ出してしまふなど、林道・作業道の維持管理が困難であると同時に、近年多発し強烈化している集中豪雨等による崩落等も大いに心配されるところです。

3 銚子市犬吠埼周辺の国有林（千葉北部森林計画区）

当所管内の国有林のうち 45 ヘクタールが千葉市、銚子市、長柄町の 2 市



君ヶ浜国有林全景

1 町に所在し、千葉北部森林計画区として管理しています。うち 9 割が銚子市の海岸沿いにあり、国有林がある君ヶ浜海岸の一带は、太平洋に突き出た

犬吠埼と白砂青松の君ヶ浜海岸の優美な風景が日本の海岸の原風景をとどめています。

この付近は、全国でも有数のキャベツ生産地となっており、国有林は潮害防備保安林として農業や人々の生活に寄与しています。

また近年は、松くい虫による被害が続いていることから、千葉県や銚子市と連携しながら、薬剤散布などによる防除対策を行っています。

君ヶ浜海岸林付近では、観光客等によるゴミのポイ捨てや、近年は、悪質な粗大ゴミの不法投棄も増えていることもあり、ごみの片付けを行うと共に、広葉樹等が侵入し薄暗くなった松林を復活させるため、職員実行による除伐を実施し、地元と連携し



保育園からの要請に応える枝落とし

て景観維持に取り組んでいます。

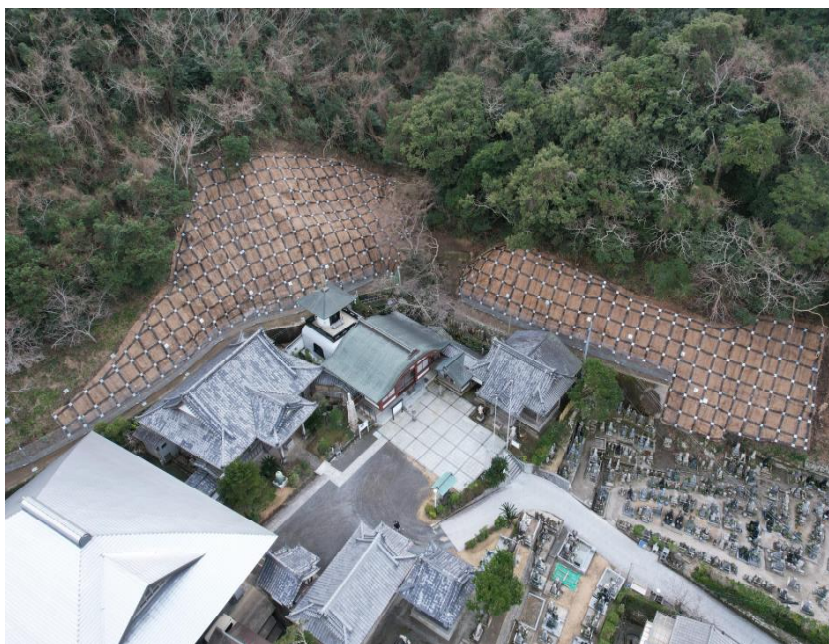
4 地域の国土強靱化に向けて

近年、各地で大雨等による自然災害が多発・激甚化しており、崩れやすい地質で急峻な国有林が、住宅地域等と各所で隣接する当所においては特に、予防的観点に立った国有林野の適正管理が大いに求められるところです。

令和元年9月9日に、令和元年房総半島台風が最大風速40m/sの強い勢力を持ったまま千葉県千葉市付近に上陸しました。各地で送電塔や電柱が倒壊、送電線が倒木などによる被害を受け大規模な停電や断水が発生し、大混乱となりました。その被害の甚大さにより激甚災害にも指定されました。

大量に発生した被害木については、あまりに大量で優先度を考えつつ順次除去していく必要があり、県内の風倒被害木の処理は、すでに5年を経過した今に至るも継続しています。

当所所管国有林でも随所で土砂流失が発生。君津市の久留里城址の城郭跡では、南西の急斜面が強風と豪雨により表層崩壊と風倒木が発生しました。また、鴨川市の小湊地区においては、豪雨により急斜面の山腹崩壊が発生し、直下の公衆トイレを倒壊させる災害が発生しており、崩落土砂の流出防止策を早急に実施しています。



鴨川市小湊地区予防治山工事



白旗国有林（工事前）

千葉市中央区宮崎町にあり、昭和6年に禁伐官林として登記簿登録され、以後90年以上にわたって普通財産（不要存置林野）として管理されてきた白旗国有林は、JR蘇我駅から歩いて数分の市街地にあつて住宅裏に切迫し、鬱蒼

とした巨木の生い茂った急勾配（崖状）の孤立小団地で、平成25年に千葉市の土砂災害警戒区域にも指定されています。着任してすぐ国有林野管理の現状と経緯を掘り起こしていたところ、昨年（令和5年）9月に台風13号に伴う豪雨により一部土砂崩落が発生、民家の敷地内に土



土砂の流入した民家

砂が流入してしまいました。

今年度、関係各位のご理解・ご支援をいただき、治山事業による防災工事を実施するため、長年の不要存地扱いを用途変更し、異例とも言えるスピード感で対策工事を施工しています。

因みに、鬱蒼とした崖下で長年不安を感じ続けて



住宅隣接地における小規模架線による危険木伐採・搬出

来られてきた近隣住民の方々は、今回の工事にとっても好意的で、皆さんの有形無形のご協力の元、現在、工事は滞りなく進捗しています。

5 森林とのふれあいの場の提供

当所が管理する国有林は都市部に近く、都会住民の方が気軽に森林とふれあうことのできる地の利を有します。このため従前より、県内外の団体等と協定を締結し、森林環境教育や森林とのふれあいの場として国有林のフィールドを提供しています。

さらに令和元年度以降は、企業などによる社会貢献活動や森林の保全活動等の新たなニーズに対応した様々な活動の場として提供するため、「協定締結による国民参加の森林づくり」を推進しており、新たな活動が始まっています。

銚子市には、関東最東端・犬吠埼の海岸線に沿って約 30ha の君ヶ浜国有林があります。銚子市全域が「銚子ジオパーク」として認定されており、国有林部分については、『銚子ジオパークの森』として、銚子ジオパーク推進協議会と令和元年に協定を締結し、市民や観光客に親しまれる森林となるよう、定期的な美化活動により景観や環境を保全しており、教育活動のフィールドとして活用されています。

南房総市の岩井海岸は、約 2 km の弓状の砂浜が続き、遠浅で波も静かなため、夏には都内の小学校の臨海学校が催される（極めて私事ながら、江東区



岩井海岸「久枝海岸の森」

立小学校卒の我が子達もお世話になっていました。）など、首都圏はじめ近県や近隣から多くの海水浴客や釣り客が訪れ賑わっています。

ここにも、海岸線に

沿って約 1.5km に渡るクロマツと広葉樹の国有林があります。面積は 3.5ha と決して広くはありませんが、防風保安林として地域住民と関わり深い森林となっています。

この国有林を「久枝海岸の森」として南房総市久枝区長並びに一般社団法人日本森林林業振興会東京支部長と令和 2 年 3 月に協定を締結し、地区住民の皆さんを中心とした保安林機能の維持・増進や景観保持の為の整備等の活動が行われています。

同じく令和元年度、君津市の戸崎国有林において、イオン環境財団創設 30 周年を記念した協定を締結し、『君津イオンの森づくり』がスタートしました。従業員 65 万人とその家族や店舗で積極的な環境学習等の活動を展開しています。第 4 回目となる昨年度のイベントには、大型バス 11 台を連ねて約 400 人の参加があり、過去植樹した林分への補植を中心に活動していただきました。



第 4 回 君津イオンの森づくり

また同じ戸崎国有林には『ガールスカウト・丸和早生樹の森』があります。森林総研林木育種センターから苗の提供を受けて、早生樹や広葉樹の植栽・導入に取り組む計画で令和 2 年度に公募の結果、木更津市『スカウトの森』（平成 15 年協定締結）から引き続きのガールスカウト千葉市協議会と、地元採石業者の丸和建材社、これに林木育種センターを加えた 3 者で協定を締結。早生樹や広葉樹の植栽・導入に向け、各地から取り寄せた苗木の植栽を行い、下刈り等のイベントを実施し保育活動を行っています。

こうした国有林を活用した活動に対しては、協定締結時には、締結者の意向等よく汲み取った上で活動計画等への技術的な助言、イベント開催時には、当所の職員をアドバイザーや森林教室の講師として派遣するなど、森林のもつ公益的な役割等について分かりやすく説明させていただいています。

6 結び

近年、全国で戦後造成された人工林が本格的な利用期を迎え、充実した森林資源を有効活用して林業の成長産業化や地方創生につなげようという動きが強まっています。

一方では、主伐を先延ばしに繰り返してきた造林木は大径材へと育ち、より大掛かりな搬出路が求められる状況になりつつあります。

植栽前の伐採当時は主流だった架線集材から作業路網による集材へと移行し、架線なら一跨ぎだった沢向いの林分は、どうやって伐採・搬出するのか。材価が搬出経費に見合わなくなってしまった奥山の造林地について、今後どのように管理・更新し、将来に亘ってどのような山を目指すのか。

地域との連携を一層進めるとともに、地域住民の安全に寄与し、様々な要請に応え得る国有林のあるべき姿・喜ばれる国有林を目指して、これからも取り組んで参りたいと思います。